

| 区分 | 科目名 | 担当教員 | 実務経験 | 学年 | 時数 | 時期 | 種別 |
|---------------|--|--|----------------------------|----|-----|----|----|
| 実習 | シャシ点検分解組立調整 検査 | 阿納弘通 | メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士 | 2 | 115 | 通年 | 必修 |
| 授業の概要 | 分解組立作業により、構造・作動原理を理解し、分解組立作業により技術力・点検方法を修得する。 | | | | | | |
| 授業の進め方 | 教科書を参考に、実際の部品を確認しながら分解組立作業を行う。 | | | | | | |
| 到達目標 | 各装置の名称・役割を理解し、説明できるようになる。 | | | | | | |
| 講義内容 | | | | | | | |
| 時間 | 項目 | 目標 | | | | | |
| 1 5 115 | オートマチック ・トランスミッション | <ol style="list-style-type: none"> 1) 分解組立により実際のATの内部構造を理解する。 2) 構成部品の働きと役割を理解する。 3) 各センサの働きを理解する。 4) 各クラッチ、ブレーキ類の役割を理解する。 5) 各シフトにおける作動部品と動力伝達経路の確認と変速比の計算の仕方を説明できるようになる。 | | | | | |
| | 油圧式パワー・ステアリング | <ol style="list-style-type: none"> 1) パワー・ステアリング装置の仕組みについて理解する。 2) 各部装置の役割と作動を理解する。 3) 分解組立要領の説明と組立作業を理解する。 4) フルードの特性と油量の点検方法を理解する。 5) エア抜き作業ができるようになる。 | | | | | |
| | 大型車 マニュアル・トランスミッション | <ol style="list-style-type: none"> 1) マニュアル・トランスミッションの分解組立作業を理解する。 2) 動力の伝達経路を理解する。 3) 分解作業過程中、使用する特殊工具の種類と使い方を学ぶ。 4) マニュアル・トランスミッションの構造・構成部品・役割を理解する。 5) マニュアル・トランスミッションの作動と点検方法について理解する。 6) シンクロメッシュ機構の作動と点検方法について理解する | | | | | |
| | CVT (無段変速式AT) 検査作業 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 内部構造を確認することにより作動を理解する。 2) 各部品の名称役割を理解する。 <p>今まで学習した、点検・分解・組立作業の経験を活かし、車両整備とおして法定点検、完成検査、自動車整備士として必要な作業機器類の取扱い、実践的な技術力を習得する。</p> | | | | | |
| 成績評価方法 | 実習項目ごとに単元テストを実施する。単元テストの成績・実習レポート等の提出課題・実習態度・出席状況にて評価し各定期試験の成績とする。 | | | | | | |
| 定期試験 | 前期中間試験、前期期末試験、後期中間試験、後期期末試験 | | | | | | |
| 教科書・配布物 | 教科書：全国自動車大学校・整備専門学校協会「シャシ構造Ⅰ」 関係資料(プリント) | | | | | | |
| アドバイス | 学科又は教科書により、事前に作動を理解しておくことで、理解しやすくなります。 | | | | | | |